

私の意見

カネツ商事常務
水野 慎次郎



私たちは、長年にわたり海外顧客の開拓に努力してきました。平成2年にシンガポールで当時のRubber Association of Singaporeのクリアリング・マーケットメイカーとして子会社を設立して以来、シンガポール・日本両市場の受注を行うプロカー業務を今日まで行っています。また、商品フ

たのは、600人を超す大勢の市場関係者が、土日の休日であるにもかかわらず真剣にセミナーに参加していたこと、そして彼らに凄いい活気を感じたことです。中国へ定期的に出張するようになって長いですが、そのつど大きく変わる上海の街、発展していく中国を見る度に私は驚きを隠せませ

指すならば、そのステップとして、まずはアジア各国の人々のための市場として地位を確立することではないかと考えます。最近、S&PとCBOが合併でJAD Eを設立し、アジアにドル建てのコモディティ市場を作ろうと動いています。しかし、私は日本市場こそがアジアにおいて中心的な

のでなければなりません。現在、アジアにおける石油や非鉄、貴金属、農産物の当業者のヘッジは、欧米の市場で行われることが多く、担当者は昼夜逆転の勤務にあって取引を行っている状態です。もしも共通の取引時間帯を持つアジアに、欧米の市場と同等にヘッジに十分耐えうる市場があれば、通常の勤務時間に取引が可能となるわけです。その意味でも、アジア地域にはまだ潜在的な市場利用者が多く存在していると

昭和27年、対日平和条約が発効して羽田空港が日本に返還され、やつと占領が終わった年の10月6日、大阪穀物取引所は大豆、小豆など雑穀5品の取引所として開設された。

その後、平成5年10月に大阪砂糖取引所、神戸穀物商品取引所と合併して関西農産商品取引所となり、平成9年に神戸生絲取引所と合併して関西商品取引所に姿をかえてい

のが市場課です。札幌(相場表)から売買の監視などみっちり鍛えられました。この年の11月から売買仕法が板寄ラバ折衷法から「板寄式」に変わり、そのおかげで両方を体験できました。その次が業務課で、受渡しを担当しました。

投資で大事なことは利益目標と損失限度額を定め、冷静に判断すること。商品先物取引のようにリスクを伴う資産運用では特に心がけたいことです。株式投資コンサルタント 葉室みどり

日本市場をアジアのための市場へ

中国の動きに注目

当業者のヘッジ玉などが出されているのは周知の事実であり、海外の国際的の大手FCMが受託会員に名を連ねるまでに日本市場は認知されるようになりました。今年の5月末、私は上海のデリバティブ・フォーラムに参加してきました。驚い

ん。近い将来、中国でも海外との取引自由化がなされると思います。それはアジアにおける一大金融革命であり、商品先物市場への新たな参加者の出現は大きなチャンスと言えるでしょう。私は、日本市場が真に国際的に認められる市場を目

役割を果たす市場となってもらいたい、各国の取引所をリードしてアジア地域の発展のために寄与してもらいたい、と昔から願っていました。そのためには、日本市場のルールが国際的に通用し、なおかつ利便性の高い市場として成熟したも

吸収合併を推進することを決めた。決議概要は次の通り。福岡商取引所の財務内容は今後、加速度的に悪化していくのみと判断される。同取引所は早急に閉鎖すべきと考え

大阪穀物取引所に入られたのはいつ頃ですか。ケネディ大統領暗殺があった昭和38年です。当時、全糧連の副会長だった木谷久一(東穀二代目理事長)さんから、大穀取の常務だった松井嘉三郎さんを紹介してもらいま

岩戸景気あたりの高度成長期、売買も受渡しも多かったのでは? 平子 出来高は連日のように新記録を更新して、5000円の「大人袋」があり、初任給1万8,000円の半分以上にもなったものです。受渡し数量も毎月3,000枚から5,000枚にもなるのですから、検品と検量の事後処理がどうしても間に合わない。手回し計算機をならべて徹夜で乗り切ったものです。

銘柄は小豆が中心でした。ひとつには前年に出版された梶山季之の小説「赤いダイヤ」が当たりとしてTVドラマになった影響もありました。立会場で撮影され、見学に訪れた服部良一さんが主題歌をその場で作曲していたのを今でも覚えています。

小さな力で大きなものを動かすレバレッジ(この作用)少額の資金で取引ができることが商品先物取引のポイントのひとつですね。キャスター 渡辺タカコ

中部・大阪商取が合併

上場商品は当面維持

中部商品取引所と大阪商取引所は8月22日、大阪で合併調印式を行った。中部商取が大阪商取を吸収する形を取る。合併日は平成

19年1月1日。新取引所の名称は中部大阪商品取引所。理事長には木村文彦中部商取理事長が就任する。新取引所では当面、大阪

商品取引所の上場している商品はすべて残すが、出来高などの状況をみて将来、検討する。また、高い振興のため、定率会費をゴムは1枚59円から29円に、ニッケル、アルミニウムなど他の商品は49円を29円に下げるとともに一般会員の定額会費も2分の1から3分の1に下げる。

また、今後行うべき対策を協議するため「研究会」を設けて具体策を練り、合併と同時に実施できるものから実施する。

新社長

アルファコムは
斉藤氏

アルファコムは6月、新社長に斉藤広志専務が昇格、就任した。松本義博社長は会長に就任。



斉藤 広志 (さいとう ひろし) 1981年入社(当時、マルヤ商事)。91年取締役。2003年アルファコムに社名変更、05年専務。47歳。

ドットコムティイは
車田(直)氏

ドットコムティイは8月18日付で車田直昭副社長が社長に就任したと発表した。車田知之社長は取締役



車田 直昭 (くるまだ なおき) 1983年東京大学法学部卒、通商産業省入省、96年商務室長、2005年楽天、松井証券の出資・支援を得て、ドットコムティイ創業、副社長に。



中部/大阪商品取引所 合併調印式記者会見

市場情報開示、建玉制限緩和など提言

商品ファンド・海外受託促進部会

先物協会の市場戦略会議4部会のうち、商品ファンド・海外受託促進部会は昨年12月からの検討結果をまとめた報告書を8月9日に開かれた制度政策委員会に提出した。

市場情報開示のあり方、建玉制限の緩和について、ファンド玉・海外委託玉に係る商



最近の平子玄一氏

品取引責任準備金の適用について、清算機関のさらなる充実によるファンド・海外受託の促進策などについては部会としての意見を取りまとめたが、項目によっては意見表明だけで取りまとめに至らなかったものもあり、意見の一致、不一致を整理した形になっている。

証言・戦後先物史

関西取。半世紀の足跡(1)

元関西商品取引所常務理事 現、大阪金融先物研究会事務局長 平子 玄一

昭和27年、対日平和条約が発効して羽田空港が日本に返還され、やつと占領が終わった年の10月6日、大阪穀物取引所は大豆、小豆など雑穀5品の取引所として開設された。

その後、平成5年10月に大阪砂糖取引所、神戸穀物商品取引所と合併して関西農産商品取引所となり、平成9年に神戸生絲取引所と合併して関西商品取引所に姿をかえてい

のが市場課です。札幌(相場表)から売買の監視などみっちり鍛えられました。この年の11月から売買仕法が板寄ラバ折衷法から「板寄式」に変わり、そのおかげで両方を体験できました。その次が業務課で、受渡しを担当しました。

投資で大事なことは利益目標と損失限度額を定め、冷静に判断すること。商品先物取引のようにリスクを伴う資産運用では特に心がけたいことです。株式投資コンサルタント 葉室みどり

手回し計算機並べて徹夜も

岩戸景気あたりの高度成長期、売買も受渡しも多かったのでは? 平子 出来高は連日のように新記録を更新して、5000円の「大人袋」があり、初任給1万8,000円の半分以上にもなったものです。受渡し数量も毎月3,000枚から5,000枚にもなるのですから、検品と検量の事後処理がどうしても間に合わない。手回し計算機をならべて徹夜で乗り切ったものです。

銘柄は小豆が中心でした。ひとつには前年に出版された梶山季之の小説「赤いダイヤ」が当たりとしてTVドラマになった影響もありました。立会場で撮影され、見学に訪れた服部良一さんが主題歌をその場で作曲していたのを今でも覚えています。

小さな力で大きなものを動かすレバレッジ(この作用)少額の資金で取引ができることが商品先物取引のポイントのひとつですね。キャスター 渡辺タカコ

注目!! 日経新聞・木曜朝刊(隔週) 各界専門家が語る

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑮

資産運用は攻めと守りのバランスを考へて、リスクを心得ておけば資金効率のよい商品先物取引は積極運用手段として魅力的な選択肢ですね。

キャスター 中井 亜希

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑯

日本経済の先行きはどうかでしよう。商品先物市場が提供する先行指標価格は、それを読むためのヒントとして活用することもできますね。

キャスター 蟹瀬 誠一

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑰

小さな力で大きなものを動かすレバレッジ(この作用)少額の資金で取引ができることが商品先物取引のポイントのひとつですね。

キャスター 渡辺タカコ

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑱

投資で大事なことは利益目標と損失限度額を定め、冷静に判断すること。商品先物取引のようにリスクを伴う資産運用では特に心がけたいことです。

株式アドバイザー 若井 武

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑲

資産運用で飛躍するためにはリスクをチャンスと考える発想が必要です。ハイリスク・ハイリターンの商品先物取引にも今年はチャレンジしたいですね。

株式投資コンサルタント 葉室みどり

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>